

## 探究活動を進めるときの注意点

- テーマや仮説の設定から、実験・観察の実施、結果のまとめ、発表に至るまで、探究の経過を図や言葉でこまめに記録をとろう。記録したことから、振り返って考察をするときや、報告書作成や発表の際に、

《記録例》実験日時・天気・気温(湿度・気圧)、参考文献<sup>ぶんげん</sup>、実験のねらいや計画・実験装置の様子、実験での注意点、気づいたことや議論したこと、工夫したこと、先生の助言、計算過程、疑問点など

- 探究活動のあらゆる場面で、クラスの仲間や先生とよく話し合おう。
- 情報機器や情報通信ネットワーク(コンピュータやインターネット)を活用しよう(→p.2)。

報告書作成日 年 月 日  
実験(探究活動)題目

報告者  
共同実験者

### ① 目的と仮説

- ▶ 実験(探究活動)の動機や目的を明確に書く。
- ▶ 学習した内容や調査した事項から結果を予想し、仮説を書く。

### ② 方法

- ▶ 使用した実験器具や試薬を書く。
- ▶ 実験方法や操作手順の概要を図などで簡潔に示す。

### ③ 結果と処理

- ▶ 実験日時や気温、気圧、湿度、天気などの実験条件を書く。
- ▶ 実験経過や結果、測定データなどを、図や表、グラフ、写真などを用いてわかりやすく書く。データが多い場合はコンピュータを活用するとよい。

### ④ 結果の考察

- ▶ 実験結果を整理して明らかになったことを、仮説と比較してまとめる。
- ▶ 客観的事実、意見、文献からの引用は、明確に区別して書く。

### ⑤ 結論

- ▶ 目的に対して、実験で明らかになったことをまとめる。

### ⑥ 感想と今後の課題

- ▶ 実験方法や操作手順で改善できる点を反省する。
- ▶ 結論を踏まえて疑問点が生じれば、新たな仮説や実験計画を提案する。

### ⑦ 参考文献

- ▶ 実験や報告書の中で、参考にした資料や書籍名などを書く。
- ▶ インターネットで調べた場合は、その URL などと調べた日時も書く。